

自然の素晴らしさや科学の本質を理解し、分かりやすく表現できる教員を育成。

現代では科学的な見方・考え方が必要とされ、理科について深い知識を持つ教員への期待も高まっています。小学校全教科の指導力を備えた理科に強い小学校教員、および理科の専門知識と教材研究・開発力を持つ中学校教員の育成を目指します。自然科学と科学技術の観点から理科の本質を学びます。

詳細はコチラ



[4年間の学び]

義務教育専攻理科専修の学びは、自然科学の専門領域である物理学、化学、生物学、地学と、教科教育学としての理科教育学の5学修領域で構成されています。1年次から2年次までは、これら5学修領域の基礎的な学問内容について体系的に学びます。特に2年次では、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験の授業を履修する中で、自然科学の探究に必要な方法論を修得します。こうした1、2年次の学びが小中学校理科教員として欠かせない教材研究・開発力を育てることになります。2年次後半までに5つの学修領域から自らが探究したい領域を決めて、3年次から研究室に属することになります。3年次以降は各学修領域の履修モデルに従って、より専門性の高い科目を学んでいきます。そして、4年次では4年間の学びの集大成として研究室の教員の指導を受けながら卒業研究を行い、その成果を卒業論文としてまとめます。

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】
小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状（理科）

【取得を優先して薦める免許状】
中学校教諭一種免許状（理科）

【所定の科目履修で取得可能とする免許状】
高等学校教諭一種免許状（理科）
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



理科教育法での教材分析



地学野外実習での博物館訪問



野外生物実習での採集

先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 理科専修 4年
愛知県立時習館高等学校出身



体験的な学びと 幅広い専門知識を活かした 理科の魅力を伝えられる授業を目指す

月の観察や中和滴定など、物理・化学・生物・地学すべての領域の実験を幅広く行ったり、川や地層、自然の生物を実際に観察する野外学習に参加したりと、体験を通して学ぶ機会が豊富です。また、すべての領域の講義についても幅広く専門的に学ぶことができるので、学んだことを活かして、豊かな経験や学びを子どもたちに伝え、魅力的な理科の授業ができる教員になりたいと思っています。小中学校での教員経験がある先生方の講義では、現場での経験談を聞くことができることもとても勉強になりますし、ゼミでは1学年6人ほどの少人数なので、手厚い指導を受けられることができます。

■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等英語科教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等理科教育法CⅡ	スポーツⅡ
2時限	初等体育科教育法A	応用物理学演習	学校体験活動Ⅰ	物理化学A	学校教育におけるICT活用
3時限	地学Ⅱ	道德教育の理論と方法	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	生物学実験／物理学実験	物理化学演習
4時限				生物学実験／物理学実験	
5時限				生物学実験／物理学実験	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年次後期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。